

関西学院大学新聞

2020年2月21日 第848号



発行部
 関西学院大学新聞総部
 〒662-0891
 西宮市上ヶ原一番町1-155
 関西学院大学新学生会館3F
 電話：(0798) 51-1181
 E-mail: info@kgpress.jp
 HP: http://www.kgpress.jp
 Twitter: @kg_shinbun

関西学院交響楽団 定期演奏会 世界的指導者 佐渡裕さん招く

関西学院交響楽団の定期演奏会が2月8日、神戸国際会館こくさいホール（神戸市中央区）で行われた。世界的指揮者の佐渡裕さん（58）を迎え、チャイコフスキーの交響曲第5番や本学OBの作曲家

大澤壽人さんの交響組曲「路地よりの断章」などを演奏した。会場には満員の2千人を超える観客が集まった。同演奏会は、神戸市出身の大澤さんの曲を演奏するなど本学交響楽団と阪神間の繋が



㊤チャイコフスキー交響曲第5番の演奏を終え、礼をする佐渡裕さん(中央)と関西学院交響楽団の団員
 ㊦本学OB大澤壽人さん作曲の「路地よりの断章」の解説をする佐渡裕さん(右)
 =いずれも2月8日午後、神戸市中央区の神戸国際会館こくさいホール



りを意識。選曲について佐渡さんは「（路地よりの断章）は、難しい曲だった。関学の卒業生に当時の音楽の最先端を切り開いていった人がいたことを伝えたい」と話す。アンコール曲には宝塚歌劇団の歌として知られる「すみれの花咲く頃」を選んだ。佐渡さんも鍵盤ハーモニカの演奏で参加した。観客の手拍子も加わり、一体感の中で演奏会は終了した。

今回の演奏会は33年前に佐渡さんが同部で指揮をした時の約束が実現したもの。同部との5回の練習では「怖がらずに演奏し、努力を重ねること」と、本番前には「いい演奏をしようというより、楽しむこと」を伝えた。

「阪神・淡路大震災25周年メモリアル」を副題に、ホールのロビーには震災当時の本学の状況を伝える写真の展示も行われた。同部演奏会運営チームの塚本彩乃さん（教. 3）は「団員と観客の両方にとって震災を学ぶきっかけになるメモリアルコンサートができた」と喜びを語った。
 （難波千聖、松岡樹）

入学おめでとうございます

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。131年目を迎えた関西学院の一員としてその歴史を共に紡いでいただけることを大変うれしく思います。大学生時代は、人生の中で最も自由で主体的に歩める貴重な時間です。与えられた課題を無難に「こなす」のではなく、この世界と社会に存在する様々な課題に自ら気づき、その解決に必要な答えを導き出すために、失敗を恐れず、できる限りのチャレンジを試みて下さい。

多様な人々と多様な世界に出会う中で、多くの課題に対して様々な角度から、より深く、丁寧に取り組む複眼的な視野を獲得していただき、無限の可能性を秘めた皆さんの未来に向かって、自信をもって船出するためのよき準備の時を過ごされるよう、心よりお祈りいたします。



関西学院 院長
舟木 譲

新入生の皆さん、関西学院大学へのご入学おめでとうございます。教職員、在学生を代表して心から歓迎いたします。

AIの発達、新卒一括採用の見直しなど、皆さんが社会に出て行くときには、雇用環境が今とは一変しています。これまでとは違い、個々人の価値観や個性が求められるようになります。「何のための人生なのか」「人生の目的は何なのか」といった根源的な問いへの答えを大学時代の4年間で見出ししてほしいと思います。その上で、大学時代に自分の能力を鍛えていって欲しいと思います。難しいことではありません。勉強でも部活でもボランティアでもかまいません。何かに徹底的に打ち込むことが重要です。その際に大切なことは、同時に複数のことに打ち込むことです。実は、複数のことに同時に挑戦するときにはアイデアや創造性は生じません。大学時代に複数のことに徹底的に打ち込むことが、自分自身を鍛え自分の個性や価値観を養う唯一の方法であると考えます。

どうか、自分自身にチャレンジし自己を鍛え、世界に羽ばたいて世界人類の幸福に貢献するという「高い志」を持ってほしいと心から願います。



関西学院大学 学長
村田 治

ご入学おめでとうございます。今や、私たちはパソコンやスマートフォンを利用して、どこにいても、いかなる時間でも多くの文献情報を集められるようになりました。図書館はヴァーチャル化する時代になったのでしょうか？いえ、そうではありません。本学の図書館は、合計約200万冊の書物と多くの電子資料、映像資料を提供できる場所として、いずれのキャンパスにおいても「本丸」にしっかりと位置しています。図書館が有する意味と役割を、入学した今の時期にこそ考えていただきたいと強く願います。4年間で何冊の文献を渉猟できるか目標を立てるもよし、広い開架書庫をくまなく歩き、たくさんの背文字にふれるもよし、閲覧室にて窓越しに新緑や紅葉を眺めながら読書と学びに励むもよし、です。皆さんと図書館との豊かな関係を是非とも構築してください。よきキャンパスライフを送られますよう。



関西学院大学 大学図書館長
田和 正孝

福祉と防災 連携を模索

内閣府の青柳一郎政策統括官が障害者と防災の課題を語った。厚生労働省との連携も視野に。

3面

アメフト 鳥内監督引退

関学を2年連続大学日本一に導いた鳥内監督が引退。新監督に大村和輝氏が就任。

6面

プロ野球 卒業生が活躍

阪神タイガースの近本光司が新人記録を更新し、学長賞受賞。千葉ロッテの荻野貴司がゴールデングラブ賞受賞してインタビューに応じた。

7面

学内贅沢ランチ情報

4面

パンフレット、記念誌、報告書
 制作・編集、デザイン

和泉出版印刷株式会社

【本社】
 〒540-0026 大阪市中央区本町1-1-6 本町カノヤビル
 TEL: 06-6946-1073(代) FAX: 06-6946-7684
 E-mail: info@izumi-syuppan.co.jp

【和泉営業所】
 〒594-0083 和泉市池上町4丁目2番21号
 TEL: 0725-45-2360(代) FAX: 0725-45-6398

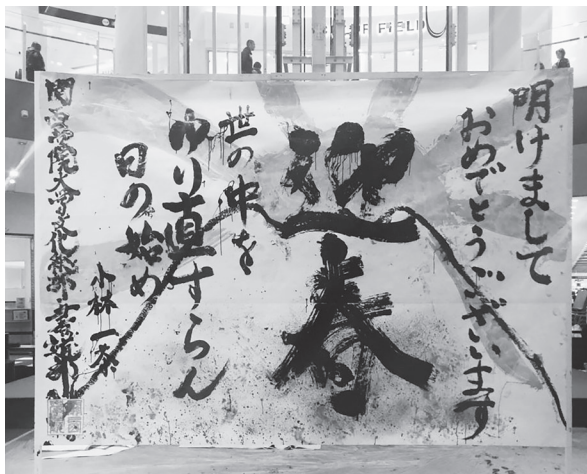
アンケートに答えて
 抽選で**5名様**に
商品券3,000円分を
プレゼント!
 詳しくは3面へ

友人とカンボジアを旅行した。アンコールワットを見たからである。近頃、観光地として注目を集めているらしく、旅のガイドブックに大きく特集されていたのを見て決めた。初日にアンコールワットに近いシエムリアップのナイトマーケットを訪れた時のこと。現地のATMで両替しようとしたら、友人のクレジットカードがでてこなくなった。時間が経過しても「しばらくお待ちください」の文字が虚しく表示されたまま、カードは一向に出てこない。その場で日本のカード会社に連絡し、カードを止めてもらったが、想定外の出来事に海外と日本の違いを思い知ることもあった。パリでストライキに巻き込まれた時のことを思い出した。その日は特に大規模なストライキで、一日中パリの交通網は機能しなかった。分かったのは、日本の安全さと潔癖さだ。時間を厳守し、出来事から生じる影響と人への配慮。日本を出て初めて、日本の良さを実感した。日本を知ることとは外国を知ることでもある。有名な世界遺産を訪れるのもいい。それ以上にその国に住む人の暮らしに触れるのはよりその国の文化を知ることに繋がる。料理や街並み、街のスタイルのような生活の中に根付いているものにこそ価値があると感じた。

書道部 活動の幅を広げる 新スタイル書道パフォーマンス



新年を迎えた1月4日、阪急西宮ガーデンズ(西宮市)の本館1階フェスティバルガーデンで「新春書き初めパフォーマンス」があり、文化総部書道部が出演した。1、2年生の部員6人が4分半で迫力ある作品を仕上げた。紙の大きさは縦2.5メートル、横3.5メートル。中心に太筆で「迎春」と大書きし、その左側には小林一茶の(世の中をゆり直すらん/日の始め)という思いが込められた。新しい年が良い一年になるようにという思いが込められた。観客は1階だけでなく、2階にもあふれていた。



文化総部書道部は「迎春」と大書きし小林一茶の句を添えた
= 1月4日午前、西宮市の阪急西宮ガーデンズ

昨年からは書道パフォーマンスを取り入れ、活動の場を広げている書道部。SNSで活動を発信していたところ、阪急西宮ガーデンズから今回のパフォーマンスの提案を受けた。部長の水上優衣さん(法2)は「観客の数が多く、やりがいがあった。まだまだ改善できるのはある。この経験を次回に生かしたい」と話した。(壺山千穂)

書道パフォーマンス ハワイでも

チームで音楽に合わせて巨大な紙に書道をする書道パフォーマンスを昨年、文化総部書道部が始めた。初舞台は3月に米ハワイで行われたホノルルフェスティバル。以降、学内を中心に活動の場を広げている。

「高校では書道パフォーマンスをしていて、大学でもや化を起こした。また、女性であることを武器に、メディアなど様々な面で多くの注目を集めた。

女性団長 最後のエール送る

70年以上の歴史を持つ応援団総部で女性初の団長を務めた岸本ゆずかさん(理・4)が1月24日、神戸三田キャンパスで行われた女子学生応援イベント「フレイ!フレイ!女子学生」にて、最後の演舞を披露した。

岸本さんは団長就任後、これまでの男性団長の「背中で語る」というイメージとは違った、女性団長としてあるべき姿を模索。「団員が安心してついで来れる」団長になることを決意してからは、団員の信頼を得られるように、普段の活動から努力を重ねた。団員達と面談を行い、疑問点や不安点なども細かく聞いた。また、応援団総部にあった慣習の意味の見直しを行った。意味がないにもかかわらず残っていた慣習をなくし、応援団総部にとって大きな変

岸本さんは4年間を振り返り「団長として大人数を引っ張るといって経験によって、人間として成長できた」と語った。学生たちに向けては「新しいことに踏み出すために大事なことは、志を持つこと。性別にとらわれずに自分のやりたいことを発見してほしい」と話した。

1月28日の応援団総部幹部



岸本ゆずかさん(左)は立石瞳真さんに団長を引き継いだ
= 1月28日夜、西宮上ヶ原キャンパスの関西学院会館

「高校では書道パフォーマンスをしていて、大学でもや化を起こした。また、女性であることを武器に、メディアなど様々な面で多くの注目を集めた。

交代式をもって、岸本さんは正式に引退。応援団総部指導部団長に就任した立石瞳真さん(人福・3)へと団長の座を引き渡した。立石さんは「岸本さんのように、伝統を大切にしつつも時代に合わせて新しいことに取り組んでいきたい。今後は、各競技を広めるという面でもサポートできるようにしたい」と意気込みを語り、団目標に「懸」、指導部目標に「万事徹底」を掲げた。(難波千聖、壺山千穂、石井拓也)

ライスボウル実力差に疑問 要望書提出

学生と社会人の実力差が問題になっているアメリカンフットボール日本選手権(ライスボウル)について、体育会アメリカンフットボール部は1月22日付けで大会のあり方の見直しを求める要望書を関西学生連盟(神戸市灘区)に提出した。同日行われた会見で同部の小野宏ディレクターが明らかにした。



要望書の提出を明らかにした体育会アメリカンフットボール部の小野宏ディレクター(右) = 1月22日、西宮上ヶ原キャンパス

ライスボウルでは、学生側が11連敗しており、大会の開催意義を疑問視する声もある。1月3日に開催した今年度の大会でも、同部は24点差で社会人代表の富士通に大敗。体格差のある社会人選手らとの接触で、同部の選手らは負傷退場しており、安全性にも懸念の声もある。新監督の大村和輝氏(48)も同日の記者会見で「実力差がありすぎる」と発言している。

安全性に懸念

要望書では同大会に安全性や平等性の課題があると、学生代表と社会人代表が対戦する今のあり方に改善を求める一方、具体的な改善策は提示していない。小野ディレクターは「(改善策は)学生連盟や日本アメリカンフットボール連盟に判断してほしい」とした。

要望書という形式を選んだことについては、同部が以前から公式に懸念を表明していたことに触れ「(主催者の)日本アメリカンフットボール連盟に正式に議題として取り上げてもらうために、要望書という形を選んだ。関西学生連盟の方から日本協会、学生協会を通じて検討してほしい」とした。

記者会見では要望書は公開されず、同部は「関西学生連盟から公表を止めるように言われている。公表については関西学生連盟に委ねる」としている。関西学生連盟の担当者「公表を止めるように言っているのは事実。今後公表するかは、まだ届いていないので、何も言えない。関大が公表をするのを妨げるつもりはない」とし、今後の対応については「月に一度の理事会で議論をし、日本アメリカンフットボール協会に報告をしていくことになると思う。報告は4月6日の記者会見でする」とした。(松岡樹)

次期本部長に松岡さん

学生連盟本部

学生連盟本部本部長選挙が1月27日、本学西宮上ヶ原キャンパスであり、松岡樹さん(法・2)が新任総部が本部長に決まった。松岡本部長は昨年4月から同本部に参加。所信表明では「1年間本部長として活動した経験を生かして、(体育会や文化総部などの)傘下団体の利益を第一に考えて活動していく」とした。任期は2月1日から1年間。

関西学院クリスマス開催

音楽礼拝イベントの「関西学院クリスマス」が12月17日、大阪市北区のザ・シンフォニーホールで開催された。本学での礼拝を再現したパートとクリスマスコンサートとの2部構成で、本学の音楽団体や併設校の生徒・児童もステージに参加した。

第1部は西宮上ヶ原キャンパスの中央講堂で行われる礼拝をそのまま再現。初等部6年生の児童による聖書の朗読、グリークラブや聖歌隊による讃美歌の合唱があった。観客にも聖書の一部と讃美歌の楽譜が配布され、来場者全員でクリスマス礼拝を行った。

第2部は、クリスマス音楽のコンサートが行われ、応援団総部吹奏楽部や混声合唱団エゴラドなども参加した。団体ごとの演奏に加え、イベントに参加した団体のコラボステージもあり、会場は温かい拍手に包まれた。(石井拓也)

見守りボランティアに感謝の会

本学教育学部の有志による西宮市立上ヶ原小学校児童への登校時見守りボランティアに対して、児童による「感謝の会」が1月10日、同小の体育館で行われた。児童による手作りのメッセージカードと歌が贈られた。

ボランティアの学生らは児童と手を繋いで入場。児童代表の沢地玲さん(6年)は「1年間のお礼を述べた後「これからもよろしくお願ひします」と締めくくった。学生代表の江頭翔太郎さん(教・3)は「活動を通して元気をもらったのは自分たちのほう。ありがとうございました」と述べた。(難波千聖)

大学祭総部発足

関西学院大学学生連盟の代議員総会が1月27日、西宮上ヶ原キャンパスであり、大学祭準備委員会は大学祭総部に改名した。

改名は組織改革の一環。昨年4月同委員会規約も改正され、大学祭開催のための要件が変わった。例年4月に行われる署名活動はなくなる。

同総部は2月1日に始動し、初代総部長には石原嵩馬さん(経・3)が就任する。石原さんは「今までの良いところは引き継いで、見直すべきところは見直ししてより良い新月祭を目指す」とした。新たに総部を称する課外活動団体ができるのは総部放送局が1961年に発足して以来、59年ぶりとなった。(難波千聖)

障害者と防災 1

青柳政策統括官に聞く

内閣府で防災行政の実務を担う青柳一郎政策統括官(57)が2月3日、関西学院大学新聞のインタビューに応じた。東日本大震災においては障害者の死亡率が被災住民全体の死亡率の約2倍となるなど、障害者を災害時にどう守るかが課題となっているなか、政府としての取り組みを説明し、今後の展望などについて語った。

国は2013年、災害対策基本法を改正した。全市区町村に災害時に自力で避難が困難な人(要支援者)の氏名や住所、電話番号を載せる「避難行動要支援者名簿」の作成を義務づけている。総務省消防庁の調査では、19年6月時点で名簿は全国98.9%の1720市区町村で作成済み。ただ、市町村によっては名簿への登録を希望した人を名簿に載せる手挙げ方式をとっており、全ての要支援者が名簿に記載されていない可能性がある。青柳政策統括官は「今後は手挙げ方式ではなく、登録者に漏れがないような目録の作成を

防災と福祉の連携を模索

市町村に対して周知する必要がある」とした。「数としてはゴールに近づいてきている」と避難行動要支援者名簿の作成には一定の評価をしたが、名簿を活用して、誰が支援し、どこへ避難するかを決めておく個別計画の作成には課題が多い。全ての名簿登録者の個別計画を作成しているのは全国12.1%の208市区町村(同調査)と、思うように作成は進んでいない。何らかの形で法律への位置づけを検討中だが、法律による個別計画作成の義務付けは現状困難である。自治体によって財政面や人材面などの状況が異なる中、一定の義務づけを行うことで現場にかかる負担は計り知れない。個別計画作成の大部分は各自自治体に委ねられている。国レベルで支援の体制を整え、現場を支援していく方法を模索中だ。



インタビューに応じ、「福祉部局との連携も進めていきたい」とした青柳一郎内閣府政策統括官
= 2月3日、東京都千代田区永田町の中央合同庁舎8号館

また、防災部局と福祉部局の連携が最重要課題となっている。全国的に見ると福祉部局と防災部局の連携は不十分な状況にある。両部局の連携への第一歩として、ハザードマップと避難行動要支援者名簿を照らし合わせ、危険な地域に住む要支援者を把握する取り組みを始めようとしている。青柳政策統括官は「これまで連携が十分でなかった自治体においても、ハザードマップのような具体的な取り組みを通して、連携の促進を図ることが狙い。次の災害に備えるためにも、両部局の連携を身近なところから進めていきたい」とした。加えて、厚生労働省との連携も視野に入れている。厚生労働省には平常時における高齢者や障害者に対する取り組みや支援のためのシステムが存在する。それらと防災を効率的に円滑に結び付け、個別計画の作成に生かす方法を検討している。

(難波千聖、松岡樹)

関西学院大学新聞総部の部長だった伊丹聡一朗さんを失ってまもなく半年となる。生前、災害時に障害のある人が苦境に置かれたことを気にかけて、防災への意気込みは人一倍強かった伊丹さん。関西学院大学新聞は遺志を引き継ぎ、災害時に障害者を取り残さないために今、どのような動きがあるのか追いかける。(この連載は6回掲載します)

留学レポート

春節のマレーシアが「あつい」

赤道に近い常夏の国、マレーシアには、年中灼熱の暑さが降り注ぐ。気温の暑さに対して、室内は冷房がよく効いており、室外と室内の温度差が激しく感じられる。留学も終盤に差し掛かったが、今も衣服による温度調整に悩まされている。マレーシアが「あつい」のは気温だけではなく、1月の下旬に行われた春節のお祝いには、マレーシア中で熱く盛り上がった。中国の旧正月を祝う春節は、華人系マレーシア人にとって1年の中で最大のイベントである。クリスマスが終わると、即座に縁起が良いとされている赤色の飾りで街中が彩られ、お祝いムード

が高まる。各家庭では、春節までに掃除を済ませ、1年間の不運を外へ出し、新年に幸せを迎える準備をする。春節を迎えると、爆竹を鳴らし、騒音で災いを払う。そして「紅包(アンパオ)」と呼ばれる少額のお札が入った赤色の袋を配る。未婚者であれば、誰でも紅包をもらうことができる。春節は中国だけでなく、全世界の華人にとって大切なイベントであり、地域によってそれぞれの祝いが発展している。マレーシアやシンガポールなどの一部の地域で欠かせないのが「魚生(イーサン)」という春節を祝う料理だ。様々な具材が盛り込ま

つのお皿を大勢で囲み、一斉にお箸を使って高いところから落とす様に混ぜ合わせる。高ければ高いほど、幸運が舞い込むと言われている。その時に、健康や長寿、家内安全、商売繁盛を願い、今年の抱負を宣言する。具材はそれぞれに意味を持ち、験を担ぐ料理として親しまれている。多民族が共存するマレーシアで、華人系マレーシア人は独自の進化を遂げながら、盛大に春節という文化を継承する。活気に満ち溢れた春節をぜひ体感してほしい。(川本暖乃)



マレーシアを含む一部の地域で親しまれている春節料理「魚生」



街中を華やかに彩るランタン

日進月歩

「#KuToo」運動 働く女性のために

昨年、女性がハイヒールおよびパンプスの着用を強いられることに異を唱える「#KuToo(クートゥー)」運動が広がった。「#KuToo」は造語。SNSで、性被害やセクハラを告発する「#MeToo」運動と「靴(くつ)」「苦痛(くつう)」を掛け合わせ「#KuToo」というハッシュタグが誕生し、その後「#KuToo」運動が起こった。発端は昨年1月、俳優の石川優美さん(32)のツイートだった。当時務めていたアルバイト先でパンプス着用を義務付けられていたことについて、ツイッターでつぶやいた。「いつか女性が仕事でヒールやパンプスを履かなくちゃいけないという風習をなくしたい」「パンプスで足がもうダメ」「なんで足怪我(けが)

石川さんは、その声に押されるように「#KuToo」運動を始めた。2月、特定の種類の靴を着用することを女性に義務づけている企業について、これを禁止するよう厚生労働省に求めるための署名活動をインターネット上で開

始。6月3日、厚生労働省に約1万8800人分の署名とともに、ハイヒールの強制を禁止するよう通達を出してほしいと訴える要望書を提出。性別に関係なく、働きやすい靴を履ける環境実現のための

イヒールやパンプスが果たして「本当に業務上に必要なものなのか」が世間では議論になった。そのインパクトは大きく、現在もSNS上で議論が続いている。インターネット上で署名活動は引き続き行われており、これまでに約3万人以上の賛同する署名が集まっている。社会人になると、特に女性に対して「会社独自のルール」または「暗黙のルール」が何かと細くなるのが特徴だ。化粧をしないのもダメだが濃すぎるのもダメなど、会社によって細かい規定があることこそが問題なのではないだろうか。ハイヒールやパンプスだけでなく、身なりに対する社会の在り方を根本から見直す必要があるように感じている。働く女性のため社会を変えなくてはならない。

■お知らせ
関西学院大学新聞はアンケートに回答して頂いた方の中から抽選で5名様に3千円分のQUOカードを差し上げます。
プレゼント応募方法
応募は <http://kgsurvey.jp/survey/> (左記QRコード) から、官製はがきに①住所②氏名③年齢④職業⑤面白かった記事の見出し⑥今号を読んだ感想 を記載して〒662-8501(住所不要) 関西学院大学新聞編集部まで。4月30日締め切り。当選者には関西学院大学新聞からご連絡いたします。



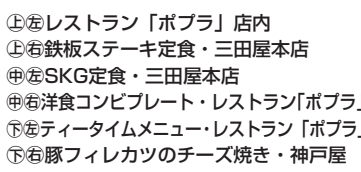
西宮上ヶ原キャンパス 神戸屋・三田屋本店・レストラン「ポプラ」

学内贅沢ランチ特集

三田屋本店
11:00~15:00
定休日:日曜日

神戸屋
平日:10:00~16:00
土曜日:11:00~14:30
定休日:日・祝日

レストラン「ポプラ」
ランチタイム:11:00~14:00
ティータイム:14:00~17:00
一部14:30~
ディナータイム:17:00~20:00



④レストラン「ポプラ」店内
⑤鉄板ステーキ定食・三田屋本店
⑥SKG定食・三田屋本店
⑦洋食コンビプレート・レストラン「ポプラ」
⑧ティータイムメニュー・レストラン「ポプラ」
⑨豚フィレカツのチーズ焼き・神戸屋

至福のランチタイム

西宮上ヶ原キャンパスにはリーズナブルな食堂から、一流ホテルや有名店が運営するレストランまで様々あります。今回は価格帯の高めなランチを紹介し、とはいえず学内なので街よりはリーズナブル。バイトのお給料が入ったとき、高級ホテルの豪華な雰囲気やセレクトメニューが味わえる至福のランチタイムをキャンパスの中で過ごしてみるのはいかがですか？(難波千聖、木村航太)

神戸屋

「安くて手軽でアツアツの商品を提供したい」という語ったのは、新学生会館地下1階の一角にある「神戸屋レストラン 関学店」の店長だ。

「ここ「神戸屋レストラン」では素材から全て国産にこだわっており、生産者の顔が見えないものは使用しない。」

なかでも、店長オススメの一品が「豚フィレカツのチーズ焼き」(723円)だ。この商品は、ジュシーなフィレカツの上に、クリーミーなチーズがふんだんに使用され、そのうえパンまでセットになっているという非常にボリュームのある一品だ。価格も学生向けにリーズナブルに設定されている。

そして食後は、ワンコインで本格的な味が楽しめる「チョコレートパフェ」(500円)がメニューに名を連ねている。

これまで学生・教職員を始め、数多くのOBのお腹を満たしてきた。そんなOB達が「ただいま」と言いたくなるような空間がこの店にある。アツアツの食事と優しいライトが織りなす落ち着いた内装が最高のひとときを演出してくれるはずだ。

問い合わせは同店(0798・8750)。

三田屋本店

キャンパス内でステーキが食べられる。本学西宮上ヶ原キャンパス新学生会館1階のステーキレストラン「三田屋本店」や「すざの郷」(関学店)では、三田屋本店の味を学生に優しい価格で提供する。

昨年9月にリニューアルオープンした同店は、メニューや価格を見直した。よ

り低価格で美味しく、三田屋本店の味を学生に知ってもらいたい」と店長の坂さんは話す。

一番のおすすめは「鉄板ステーキ定食」。熱した鉄板にステーキ肉が生のまま、玉ねぎや人参などの野菜とともに盛り付けられ、ハムサラダと玉ねぎスープ、ご飯で千円。こだわりの肉は自分好みの焼き加減で楽しめる。盛り合わせやスープの玉ねぎは淡路島産のものを使用。丹波篠山産の米やサラダドレッシングは三田市にある本店と同じものだ。

新学期からは新メニュー「SKG定食」(900円)を販売する。コロッケ、ハムカツからあげ、エビフライ、フランクフルトなど、ボリューム満点の一皿だ。1日に提供する数は決まっており、内容も時期によって変わる。

坂さんは「学生生活で一度は来店して欲しい。そして、社会人になって他の三田屋本店にも足を運んでくれると嬉しい」と話した。

問い合わせは同店(0798・31・2777)。

レストラン「ポプラ」

宝塚ホテルが運営するレストラン「ポプラ」は本学西宮上ヶ原キャンパス新学生会館にある。少し贅沢な食事を落ち着いた店内で楽しめる。「学生も学外の方も気軽に利用してほしい。ゆっくり食事を楽しみたい方にお勧め」とマネージャーの湯之上和弘さん(47)は話す。

数あるメニューの中でお勧めは「洋食コンビプレート」(1520円)だ。メインディッシュは人気の洋食メニュー4品から2品選ぶ。こだわりのハンバーグ、エビフライ、カレーとカニクリーム

コロッケだ。日替わりのスープ、ライス、飲み物がセットになっている。シェフの長門伸幸さん(47)は「温かい一番美味しい状態でお客様に提供できるように心がけている」とこだわりを語る。

同レストランでは、ティータイムにケーキセットやミルフィユセット、チョコレイトパフェ(各780円)なども提供している。これらは本学の学生証の提示で500円になる。「空コマなどに友達とおしゃべりしながら楽しい時間を過ごしてもらえれば」と湯之上さん。

他にも、豊富なメニューで来客を飽きさせないのが同レストランの特徴だ。「少し贅沢をしたい時にぜひ利用してほしい」と湯之上さんは語った。

問い合わせは同店(0798・541188)。(価格は全て税込み)。

学校法人
兵庫県自動車学校

普通車・準中型
TEL:0798-67-2200
兵庫県自動車学校

関学生協サービスカウンターにてお申込み下さい。

入学おめでとうございます

神戸市営住宅・兵庫県営住宅ほか
電気設備保全工事 畑中電気合同会社
〒653-0834
兵庫県神戸市長田区川西通り5丁目107番地の8

Timee

今すぐはたらけて
 今すぐお金がもらえる
 スキマバイトアプリ



スキマバイトアプリなら

Timee



タイミーが人気の理由

- 好きな時間に好きなだけ
- 面接・履歴書必要なし!
- お金はその日に即入金!

株式会社 タイミー

関西支社:〒541-0054
 大阪府大阪市中央区南本町3-4-2 船場グランド第2ビル 2階
 06-6450-4559

東京本社:〒150-0043
 東京都渋谷区道玄坂1-22-9 AD-O渋谷道玄坂ビル9-10F
 03-3830-0473



関学堂々 2年連続 大学日本一



パスを出す関学のQB奥野耕世(右) = 2019年12月15日、阪神甲子園球場

アメフト部

甲子園ボウル

12月15日
阪神甲子園球場

大学日本一を決める第74回甲子園ボウル(全日本大学選手権決勝)は阪神甲子園球場であり、西日本代表の関学大が初優勝を狙った東日本代表

鳥内秀晃監督「主役は学生」

アメリカンフットボール部は、甲子園ボウルを制した。今季で勇退する同部の鳥内秀晃監督にとって最後の甲子園ボウルはどう映ったのか。

この日も「主役は学生」と喜びを抑えた監督は、記者に最後の甲子園ボウルへの思い入れを問われ「泣きそうや」と言ったものの、間髪入れずに「うそやで。ほんと頼むで」とおどけて見せる一幕も。甲

早大を38-28で下し、2年連続の優勝を果たした。第1クォーター(Q)に関学大はキッカー安藤のフィールドゴール(FG)で先制す

子園に來れない監督もいる中、何回も来させてもらってありがたい」と感謝の言葉も述べた。(松岡樹)



④勝利監督インタビューに応じる鳥内秀晃監督
⑤主将のDL寺岡芳樹に促され、記念撮影の輪に入る鳥内秀晃監督(右) = いずれも2019年12月15日午後、阪神甲子園球場

るも、その後は早大と一進一退の攻防が続いた。関学大は27-28とリードを許して迎えた第4Q、RB前田公のタッチダウン(TD)で逆転すると、FGでも追加点を挙げ、10点差で決戦を制した。(松岡樹)

社会人王者に歯が立たず

ライスボウル

1月3日
東京ドーム

学生代表の関学大は14-38で社会人代表の富士通に敗れた。今季で勇退する鳥内秀晃監督にとって最後に指揮する試合となったが、有終の美を飾れなかった。富士通は4年連続5度目の優勝だった。

試合を通して関学大には苦しい展開が続いた。富士通は第1クォーター(Q)、2つのTDで14点先制すると、第2QでもTDを決められ0-21に。RB三宅が64ヤードのTDランを決め7点返すも、さらにTDを許し7-28で前

半を折り返した。7-31で迎えた第4QもTDを許すが、関学大は試合終了1分を切ってから粘りを見せた。QB奥野がWR鈴木へのTDパスを決め7点返すが反撃及ばず、24点差での敗戦となった。

関学大を28年間率いた鳥内秀晃監督にとって最後の指揮となったが、勝利で花道を飾ることはできなかった。ミスや反則が目立つ関学大のプレーを「防げるミスだった。徹底してできていなかったの



第2Q、64ヤード独走してタッチダウンを決めたRB三宅昂輝 = 1月3日午後4時11分、東京ドーム

が失敗だった」とし「指揮をとる最後の試合となったが」やり切った感はない」と振り返った。

甲子園ボウルに続いて「主役は学生」と強調した鳥内監督は、自身の退任については多くを語らなかった。(松岡樹)

新監督に大村和輝氏

関学大体育会アメリカンフットボール部は22日、同大で会見を開き、新監督に大村和輝アシスタントヘッドコーチ(48)が就任することを明らかにした。大村新監督は「勝つべくして勝つチームを目指すと目標を話した。」

2009年に同部のアシスタントヘッドコーチに就任してから11年間でチームを甲子園ボウルに8回出場、7回学生日本一に導き、卓越した戦術力、指導力でチームに貢献してきた。同部の小野宏ディレクターは「大村監督に勝る指導者は日本にいない」と実力に太鼓判を押した。大村新監督は「現状認識を改め、勝率100パーセントを目指して逃げずに向き合っていけるチームを目指す」とした。



就任会見で「勝つべくして勝つチームを目指す」とした大村和輝新監督 = 1月22日午後、西宮上ヶ原キャンパス

大村新監督は2月1日付で就任し、学生日本一を目指す。(難波千聖、松岡樹)

鳥内前監督トークショーでファン湧かす

鳥内秀晃前監督(61)の著書「どんな男になんねん」の出版イベントが1月26日、西宮市内の書店であった。鳥内前監督の軽やかなトークに会場は盛り上がった。昨年12月に発売された本書は鳥内前監督の教育論をスポーツジャーナリストの生島淳氏(52)がまとめた。午後2時から始まったトークイベントには書籍を購入したファンら約120人が集まった。鳥内前監督は自分で考える選手を育てることについて生島氏から問われると「問いかけ方が大事。(なぜ?などの)オープンクエスチョンをすればいい」とし「日本には(子供に)考えさせる習慣がない」と子供を持つ親などにも呼びかけた。会場の担当者からペットボトルの水を差し入れられた際に、生島氏に青いキャップのものが渡ると「俺

は青じやなきや嫌やねん」とチームカラーにこだわりを見せてボトルの交換を求め、会場はどっと沸いた。参加者から寄せられた質問へ回答した後、サイン会があった。鳥内前監督は本にサインし、一人一人と写真撮影に応じた。共著者の生島氏はイベント後「関学の」チームカラーを出すことを考えた。全編関西弁で鳥内前監督らしさが伝わると思う。(大学生には)アメフトの本ではなく人生の本として手に取ってほしい。目次をみるだけで鳥内前監督の哲学はわかると思う」と話し、鳥内前監督も「アメフトの本ちゃやうからな。大学の教科書にしたらええねん」と笑いを誘った。同書は税込1870円でベースボール・マガジン社から。(松岡樹)

鳥内監督引退「勝手にやってくれ作戦や」

今季限りで退任する体育会アメリカンフットボール部の鳥内秀晃監督(61)が1月8日、本学西宮上ヶ原キャンパスで記者会見を開いた。「正直ほっとしている」と今の心境を語り、28年間の監督人生を振り返った。

監督生活で辛かったことを問われると、03年の夏合宿中に部員の1人が急死したことを挙げた。この事故を受け「指導ががらっと変わった。安全第一、人の命第一」。

算成績は197勝38敗3分け。常勝集団の関学を背負った28年間だった。「負けた年は悔いが残る。ライスボウルを含めて、勝つチャンスがあるのに、勝たせてあげられなかったことは悔いが残る。」

学生主体を貫いた監督は「学生自身の意見を取り入れることが大切。納得させるためには、失敗も必要。お前ら勝手にやってくれ作戦や」と笑顔で話した。後任の指導陣にも学生の主体性を大切に、人間的な成長を促すよう



笑顔で28年間の監督生活を振り返る体育会アメリカンフットボール部の鳥内秀晃監督 = 1月8日午後、西宮上ヶ原キャンパスの関西学院会館

期待を寄せた。今後は「とりあえずは休憩時間が必要。まだ何も考えていない」と話した。今後必要請などがあれば、アメフトの魅力などを発信していきたいという。(壺山千種、松岡樹)



インタビューに応じるプロ野球千葉ロッテの萩野貴司外野手 = 1月21日、千葉市のZOZOマリンスタジアム

プロ野球 千葉ロッテ 萩野貴司外野手

プロ10年目の昨季は125試合に出場し、自身初となるゴールデングラブ賞、ベストナインにも選出された、本学OBでプロ野球ロッテの萩野貴司外野手(34) 〓 〇8・法 〓 が関西学院大学新聞の単独インタビューに応じた。昨季の活躍を振り返り「チームの優勝に貢献したい」と今季の抱負を語った。

「このチームでリーグ優勝したい」

1番打者として125試合に出場し、打率・本塁打・打点・盗塁は軒並みキャリアハイを記録した萩野外野手。「開幕戦には出られず、最終的にこんな成績が残せるとは思っていません。運もあると思

う」と振り返り、Bクラスで終わったチーム成績については「チームの成績はAクラスあと一歩だった。勝たなきゃいけない試合を落としていた」とした。

故障が多く、毎年チームを離脱しているイメージがあるが、プロ10年目にして自身初のシーズン規定打席に達し、大きな故障もなくシーズンを終えた。「身体を動かせる範囲が狭くなると、怪我に繋がるので、若い時よりも身体を使える範囲を広げるようにトレーニングしている」とし、若い頃との変化について「若い頃は周りの

指導者の言うことを鵜呑みにしたトレーニングをしていて、疲れや故障につながっていた。今では自分がどうしたらよいか徐々にわかってきたので、余計なことをしなくなった」と話した。

国内フリーエージェント(F.A)権を行使せず、ロッテへ残留することを選んだ萩野外野手は「チームにはお世話になった。(ロッテでリーグ優勝をしたことがないの)でこのチームで優勝したい」と理由を話した。

体育会硬式野球部の同期で日本ハムの宮西尚生投手(34) 〓 〇8・商 〓 については、

「対戦するときに変な意識をしよう。苦手で対戦はしたくない」とし「ボールは打てそうな感じがするの……。目を合わせないようにしています」と笑いを誘った。



①村田治学長から学長賞を受け取る近本外野手(左)
②笑顔でトークする近本外野手
③時計台前で笑顔を見せる近本外野手
=いずれも12月12日午後、西宮上ヶ原キャンパス



プロ野球阪神タイガース 近本光司外野手に学長賞

関西学院大の同窓生として輝かしい功績を収めた人物に贈られる本学の学長賞に、プロ野球阪神の新人・近本光司外野手(25) が選ばれた。今季、セ・リーグの新人記録を更新する159安打を放つなどの活躍が評価された。西宮上ヶ原キャンパスで12月12日、授与式と講演会があった。

授与式で近本外野手は「このような場を設けていただいたことに感謝し、数多くのOBの中から学長賞に選出されたことは非常に光栄」と感謝した。

講演会では、在学生や教職員を交えたトークセッションがあり「今シーズン苦手な投手はいましたか」や「普段のお休みは何をしていますか」など野球からプライベートまで幅広い質問が飛んだ。「奥様の馴れ初めは」という質問には、頬を赤らめ机に突っ伏す一幕も。

トークセッションの最後には学生時代に近本外野手を指導した関谷一彦教授(法学部)が「近本君は、学生時代から自分を客観視できていた。プロになった今も活きているのではないか」と評した。

近本外野手は「学生との交流を通じて、自分がどう見られていたのかを再認識し、自分を客観的に見直せて、非常に良い機会だった。来シーズンは、2年連続盗塁王を目標にチームに貢献していきたい」と力強く語った。

学長賞は同窓生として輝かしい功績を収めた者に授与しようと創立130周年を機に新設され、近本外野手は最初の受賞者となった。担当者によると昨秋の世界選手権400メートル銅メダルの多田修平(住友電工) 〓 19・法 〓 と、世界経済フォーラムが毎年1月にスイスのダボスで開催する年次総会「世界ダボス会議」の共同議長で特定非営利活動法人「ゼロ・ウェイストアカデミー」理事長の坂野晶さん(12・総政)への同賞の授与も決まっている。

(木村航太、松岡樹)



〓 関学生のみなさまのご来店をお待ちしています 〓

三田屋本店
— やすらぎの郷 —
関学店



兵庫県西宮市上ヶ原1番町1-155
関西学院大学新学生会館1F
TEL 0798-31-2777
営業時間 11:00~15:00
日曜定休日





子どもの扉がひらくとき—「モンテッソーリたんぽぽ子供の家」の子どもから

小川 浅子

本書はこうすれば、賢い子どもに育つ——といったやり方が書かれたハウツー本ではない。30年以上にわたり、「教えて育てる」のではない方法で子どもと向き合い、子どもの行動一つ一つを尊重してきた実践の記録だ。

著者の小川浅子さんは、千葉県船橋市の「モンテッソーリたんぽぽ子供の家」で2歳半から6歳までの幼児にモンテッソーリ教育を実践している。イタリヤの医師マリア・モンテッソーリが確立した「モンテッソーリ教育」は「子どもは自ら伸びたいという強い願望を持つ」という信念に基づき、一人ひとりの興味を尊重し、個々の感性や自主性を

を育むことを重視する教育方法だ。

「大人と子どもは違う」。当たり前なことだが、私たちはつい大人の価値観に当てはめて子どものリズムを無視してしまう。子どもの頃「早くしなさい」と言われた経験のある人も少なくないだろう。砂場で、お風呂場で、道端で、「何か」が気になって集中する子ども。大人とは違う時間軸で子どもはその瞬間、自ら育とうとしているのだ。著者はこうした子どもの行動を観て、子どもが何に興味を持っているか知ろうとして、子どもが育つヒントを得た。

著者は幼少期に成長発達す

るために、あることへの感受性が敏感になる期間である「敏感期」を心ゆくまで過ごせた子供は思いやりがあり、困っている人を助けようとするなど共通した特徴が見られるとも指摘している。

棋士の藤井聡太七段や、アマゾン創業者のジェフ・ベゾス氏が受けた教育という評判から、何か複雑なことをやっているかと思っていたが、「子どもと向き合う」という、当たり前のようで簡単ではないことこそ、モンテッソーリ教育の本質だったのかと考えさせられた。
太田次郎エディタスから、3月下旬発売。予価1800円。(松岡樹)

教授の研究室

田中大輔

理工学部 准教授



田中准教授の研究室では、錯体化学と固体材料化学を中心に研究を行っており、同学部や他大学の教授との共同研究も進めている。最近の研究としては、2種類の有機物を混ぜることによる、リチウムイオン電池の特性向上の手法

開発がある。これは、単一では低い容量を示す物質同士を混ぜることで、その物質がリチウムイオンをよく通すようになる性質を利用したものだ。現在リチウム電池にはコバルトのような高価な物質が使われている。この研究では

利用できる物質の選択肢を増やし、より安価で性能の良い電池発明の可能性を示した。

また、別の研究では光を当てて水で水を分解して水素を発生させる、新たな多孔性物質の開発を行った。結果、本来は合成する事が難しい硫酸化体を使うことで、光によって水を水素に分解する性質を持った半導体の物質を開発した。一方この発明の課題として、水から水素への変換効率の低さがあるため、まだ実用段階には至っていない。この問題を解決できれば、燃料電池をはじめとしたエネルギー利用にも応用できる可能性がある。

「世界で初めて」味わる研究の魅力

田中准教授によると、研究の魅力は「世界で初めて」の状況が味わる点にあるという。「まだ説明されていない点も多く、努力次第で誰に対しても『世界で初めて』に挑戦できるのは研究における魅力の一つだと思います」と田中准教授は語る。また、学生たちに向けて「研究を面白いと感じるには、その研究の前提知識を知っている必要があります。また、同様にその研究の分野に興味があることも重要で、この二つの要素の

バランスを成り立たせることで、初めて研究に面白みを感じることができると語った。また「必要であるとはいえ、知識を蓄えることのみにとられすぎてもいけない。研究を始めるにはまず『とりあえずやってみる』という好奇心を大切にしてください」と語った。(石井拓也)

プロフィール

<おがわ・あさこ>

1947年生まれ。日本モンテッソーリ教育総合研究所教師養成センター卒業。86年、モンテッソーリ教育施設「たんぽぽ子供の家」を開園。園長として幼児教育に携わりながら、モンテッソーリ教育の研修会講師として全国各地で講演活動を行っている。

| |
|--|
| たなか だいすけ |
| 2003年 京都大学工学部工学科 卒業 |
| 2008年 大学院工学研究科合成・生物化学専攻 博士後期課程修了・学位取得 |
| 2009年 アーヘン工科大学 博士研究員 |
| 2010年 大阪大学大学院理学研究科科学専攻 助教 |
| 現在 関西学院大学理工学部化学科 准教授 科学技術振興機構(JST)さきがけ研究者 |

おすすめのお店探し隊!
vol.25.
「halo ~お肉とチーズのお店~」

今回紹介するのは、阪急今津線門戸厄神駅から徒歩1分に位置する、イタリヤンレストラン「halo」のお肉とチーズのお店。このお店では、店名の通りお肉とチーズを中心とした料理を提呈している。本来だと値段が高くて設定される食材の料理が手ごろな値段で楽しめるのが特徴で、学生にも優しいお店になっている。

COUPON

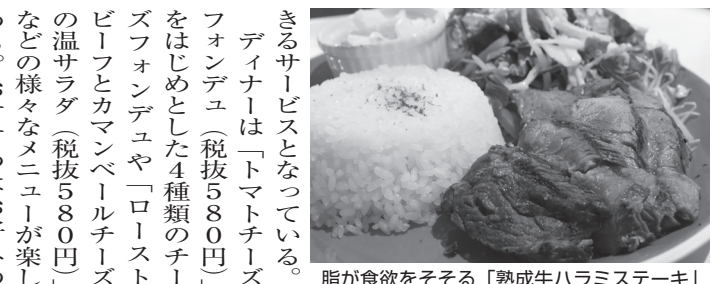
このクーポンを写真に撮ってスタッフに見せると、ランチはプチデザートをサービス、ディナーでは税込価格から5%OFF!
期間…5月末まで

☆基本情報☆

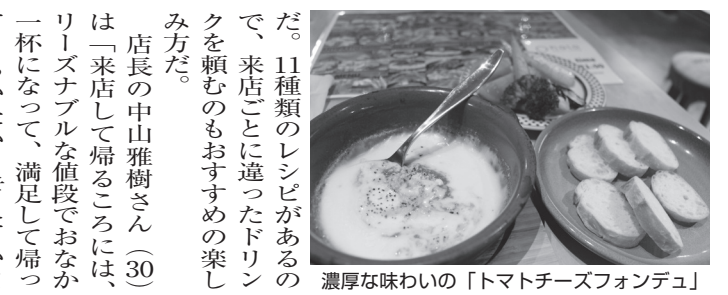
- ・営業時間…9:00~20:00
- ・定休日…第2水曜日、第4水曜日
- ・座席数…42席
- ・住所…西宮市門戸荘7-48 松本第一ビル1F
- ・TEL…050-3462-9141

ランチは「ジュシー牛赤身ロースステーキ(税抜980円)」「熟成牛ハラミステーキ(税抜930円)」のような、ステーキをはじめとした肉料理がメインとなっている。どれもお手頃価格で楽しむことができるので学生にもおすすめです。さらに、ランチメニューにはカレーライス食べ放題のような他店では見られないサービスも無料でついている。そのため、たくさんご飯を食べたい人も満足で

今回紹介するのは、阪急今津線門戸厄神駅から徒歩1分に位置する、イタリヤンレストラン「halo」のお肉とチーズのお店。このお店では、店名の通りお肉とチーズを中心とした料理を提呈している。本来だと値段が高くて設定される食材の料理が手ごろな値段で楽しめるのが特徴で、学生にも優しいお店になっている。



脂が食欲をそそる「熟成牛ハラミステーキ」



濃厚な味わいの「トマトチーズフォンデュ」

K.G. PEOPLE

#36. 学生カメラマン

柴原 誠さん (経・3)



今回は学生カメラマンとして活動する柴原誠さん(経・3)に取材を行った。カメラマンを志したきっかけ、ファインダー越しに見る将来の展望を熱く語った。

叔父の影響でカメラを構えはじめた柴原さんが、その道で生きることを決めたきっかけは「おじさん」との出会いだった。プロカメラマンとして働いていた「おじさん」は、当時高校生で、無類のカメラ好きだった柴原さんとお会いした。そこから意気投合し、そこから柴原さんはアドバイザーを求められるようになった。

「おじさん」は柴原さんの写真の決め手のみを指摘し、自分で考えさせるように常に仕向けた。そのため柴原さんは自分の撮った写真のどこがいけないのかを、自分で考え学ぶ日がほとんどだった。しかし、気がつくくと柴原さんは自ら考える習慣が身についていたという。「写真というのには自分の感性が本当に大切で、正解を他人から与えてしまうと「一生育たない」とのちに「おじさん」から自分で考えさせる本意の意図を聞いてから、柴原は所属する団体(卒業アルバム制作委員会)での後輩に指導する際の指針にしているそうだ。

「一瞬はチャンスだ」

「一瞬はチャンスだ」柴原さんが座右の銘にしている言葉で、カメラを構える際にはいつも思い出している。「この言葉は日常にも当てはまることで、例えば、大学での「一瞬」というのは、大学内での出会いやたまたま発された何気ない一言が自分の運命を大きく変える可能性のことで、その一瞬を大切にしたい」と柴原さんは話した。



中央芝生で撮影する柴原誠さん =2018年6月、関西学院広報室提供

「一瞬はチャンスだ」柴原さんが座右の銘にしている言葉で、カメラを構える際にはいつも思い出している。「この言葉は日常にも当てはまることで、例えば、大学での「一瞬」というのは、大学内での出会いやたまたま発された何気ない一言が自分の運命を大きく変える可能性のことで、その一瞬を大切にしたい」と柴原さんは話した。

(木村航太)



大学院前に広がる桜 =柴原誠さん撮影

「網の目を広く張る」 自分の可能性を大切に

第23回 タイムスリップ



今回は、本学経済学部を卒業後、ABCテレビ(朝日放送テレビ)にてゼネラルアナウンサーとして活躍中の小縣裕介さん(48)が、本紙の取材に応じた。本学での思い出や印象、そして新入生へ向けて熱いエールを送った。(聞き手・木村航太)

「本学を選んだ理由は」 関学を選んだ主な理由の一つには、先輩として関学に通う兄の姿を見ていたということが挙げられます。あとキャンパスの持つ開かれた校風と、印象が、関学のそういった雰囲気の中で、志望しようとして決意しました。

「本学に在籍中、印象に残っていることは」 授業で仲良くなった友人と一緒に始めた「スキューバダイビング」の活動です。活動に際しては、機材の値段も高く、平日は学業とアルバイトに明け暮れる日々でした。しかし、「週末は海で潜ることが出来る」というモチベーションがハードな日々を乗り越える力になりました。

「本学に在籍中、印象に残っていることは」 授業で仲良くなった友人と一緒に始めた「スキューバダイビング」の活動です。活動に際しては、機材の値段も高く、平日は学業とアルバイトに明け暮れる日々でした。しかし、「週末は海で潜ることが出来る」というモチベーションがハードな日々を乗り越える力になりました。

朝日放送(株)ゼネラルアナウンサー

小縣裕介さん(48)

「仕事において大切にしていることは」 「したいこと」と「しなければならないこと」のバランスは、本当に大切にしています。例えば、学生ならサークル活動や部活動など自分の「したいこと」と、勉強やアルバイトなどの「しなければならないこと」のバランスはどちらかに傾きすぎるとどうしても苦しくなってしまう。だからこそ、両立できるバランスというのは常に意識して持っています。

「将来にかけての展望や意気込みは」 あらゆるチャンスに貪欲になつていきつつ、まだまだ老けこむ訳にはいかないなどと考えています。自分の可能性というものは、やはり経験してみないとわからない。この考え方は若手時代から変わってなくて「他の選択肢を辿ってきたからこそ、見えてきたもの」が見つかるかもしれない。そういった一期一会の発見を噛み締めながら活動していきたいですね。



本学イベントにて司会を務めた小縣氏 =2019年12月

「最後に、この春から関学生になる新入生へメッセージを」 「自分の網を広く持つって、苦手を食わず嫌いのままにしないで」ということです。と

<おがた・ゆうすけ>

1971年生、兵庫県神戸市出身。本学経済学部を卒業後、1994年にアナウンサーとして朝日放送へ入社。現在はスポーツ中継の実況などを担当。主な出演として「全国高校野球選手権大会中継」「ABCフレッシュアップベースボール」など多数。

「最後に、この春から関学生になる新入生へメッセージを」 「自分の網を広く持つって、苦手を食わず嫌いのままにしないで」ということです。と

2020年春夏、捨てる時代はもう終わり



ブラウス (ボロ・ラルフ・ローレン)
スカート (レイ・ヴィトン)



コート、ボトムス (ユナイテッド・トウキョウ)
ニット (アーバンリサーチ)

今季トレンドは

20年春夏は、リサイクル素材や長く使用できるものなど、地球環境を考えたファッションがトレンドとなる。

近頃、サステナブルという言葉が世間に浸透してきている。サステナブルとは「持続可能」という意味。類似語としてエコと言っていいかもしれない。地球に及ぼす影響を問われているファッション産業にとっては、避けては通れない言葉だ。

無視できない現実

ファストファッションの流行の影響もあり、衣類の年間消費量は年々増加しており、それに比例して、一人当たりの洋服の廃棄量も増えている。20年前に比べ、約2倍の洋服が廃棄されているのも事実だ。廃棄物の量

一過性のサステナブルでは駄目

もさることながら、衣服を作る過程で発生する汚染水や温室効果ガス、衣服に毛や皮を使用するために動物を大量に処分することなども問題視されている。そこで、廃棄するナイロン、ポリエステルを最先端技術で再生した生地や、天然皮革、羽毛を使用しないアニマルフリーといわれる製品が注目されている。これらは、パタゴニア、リーバイスなどのカジュアルブランドから、エルメス、グッチなどの高級ブランドまで、様々なブランドが積極的に取り組んでいる。本学出身の太田真一さんが代表取締役を務める株式会社スタンレーインターナショナル(アパレルメーカー)で部長を務める中弘一さん(42)は「温暖化や石油問題、海洋汚染、大量のゴミ廃棄問題など、我々が無視

「リーズナブルを上手に組み込む」



ブラウス、ボトムス (ZARA)



ボトムス (ZARA)

学生にはZARAが圧倒的人气

ファッションにお金をかけることがお洒落ではない。

ZARAは、若者に圧倒的に指示されるファストファッションブランドだ。ファストファッションブランドは、ファッション性の優れた商品を手頃な価格で販売する。多くのファストファッションブランドの中でもZARAが支持される理由は、高級感と優れたデザイン性にある。ZARAは、ヨーロッパを拠点に

できない現実を改善しようとする動きが、ファッション業界でも出ている。一過性のトレンドではなく、本来の語彙であるサステナブル(持続可能)になればと願う」と話した。同社が取り扱うメイやマウンテンスマイス、セイブザダックといったブランドもま

新たな可能性

また、若い世代を中心に人気を集めているフリマアプリによって、使わなくなった物を捨てないで譲る(売る)という行動が広まってきている。

た、サステナブルを意識したブランドだ。

洋服も同様に、捨てる(売る)というかたちでリサイクルする流れは、サステナブルな活動と道理にかなっている。店頭で買って捨てる時代はもう終わった。地球環境のためにも、より良い形を模索していかなければならない。(壺山千種)

世界中で1シーズンに3万以上のモデルをデザインする。2週間単位で新商品が投入され、店頭には常に新しい商品が並ぶ。个性的かつ最新のデザインは高級感を放つ。ファストファッションの価格帯とは思えない商品を提供するのがZARAの魅力だ。

また、トレンドに左右されにくいバックや靴などは、少し高価なものでアクセントをつけるのもおすすめ。上品さ

が加わり、自然と華やかな雰囲気になるだろう。(壺山千種)



▲ハンドバッグ(フェンディ)
▼ブーツ(ドクターマーチン)

関学神戸三田キャンパスから一番近い教習所

● 取得できる車種 ●

大型車・中型車・準中型車・普通車(AT/MT)・
大型二輪車(AT/MT)・普通二輪車(AT/MT)

お申込みは、大学生協サービスカウンターにて受付できます。



SANDA AUTOMOBIL SCHOOL
SAS
SINCE 1963

兵庫県公安委員会指定

三田自動車学院

三田市志手原1147-1 TEL:079-562-2995
E-mail:sas.1963@poppy.ocn.ne.jp HP:www.sas-menkyokaiden.com



三田自動車学院携帯用HP QRコード